

認知症のお話

“認知症”と聞いた時の皆さんのイメージはどんなものがあるでしょうか？「何も分からなくなる」「怒りっぽい」「自分ではなくなる」…なんだかネガティブなイメージかもしれません…。あるスウェーデンの中学生は、“認知症とは”という作文で『不安と混乱の中にあり、周りからはせかされたり、怒られているような気持ちになり、時には悲しく時にはいらだたく思っています』と書いています。認知症の人の気持ちをよくとらえており、このようなイメージを子どもの頃からできるスウェーデンは、やはり福祉の教育が進んでいるといえます。日本でも認知症を知ろうという社会の動きが加速しています。

認知症は脳の細胞が減ったり、働きが悪くなることにより、もの忘れや判断力の低下が起こってくる病気で、不安や抑うつ、妄想などを伴うことがあります。アルツハイマー型認知症や脳卒中に伴って起こってくる認知症がありますが、治療が可能なものもありますので、病院できちんと検査・診断を受けることが大切です。

名前が思い出せなかったり、お昼ご飯に何を食べたか思い出せなかったりするような“出来事の一部を忘れてしまう”のは、加齢によるもの忘れで誰にでも起こることです。しかし、お昼ご飯を食べたこと自体をつまり“出来事の全体をすっぱり忘れてしまう”のは認知症によるもの忘れの可能性がありま

す。治療としては、一つは薬によるものがあります。アルツハイマー型認知症では、残された脳細胞を活性化させる薬により病気の進行を遅らせたり、表情がよくなったり意欲が向上することが期待できます。日本で使えるこれらの薬の種類も増え選択肢が広がっています。記憶や脳の機能を回復させる薬はまだありませんが、研究開発は進みつつあります。

文／たたらリハビリテーション病院
光安佳恵医師



薬も大切ですが、認知症の方が安心して落ち着いて過ごせる環境を整えることはもっと大切です。いろいろな活動を通しての楽しい時間や他者とのコミュニケーションは刺激となり頭の働きを活発にします。認知症の方は最近の出来事は忘れても昔の出来事はよく覚えていることが多いもの。昔の玩具や道具などを用いて懐かしい楽しい思い出を引き出し共有するような回想法や、懐かしい歌や音楽を利用した音楽療法、絵画・ペット・園芸・ゲームなどを楽しむレクリエーション療法などがあります。

認知症の方と接する上でのキーワードは“安心と笑顔”。記憶のつながりが保たれないことから、不安やあせりで気持ちが落ち着かず、失敗により自信をなくしたり、それが誰かのせいだと思い込むこともあります。間違っ

たことを言っても否定する必要はありません。なるべく安心して、笑顔を引き出せるような関わりを持ち、その人のペースに合わせてゆっくりと見守ることもコツです。また、介護者となるご家族は抱え込まずに、自分の時間を持ったり話を聞いてくれる仲間をつくったりして心に余裕を持つことが大切です。多々良公民館では、毎月第4土曜日に「しろうおカフェおれんじ」という認知症カフェを開いて、地域の方たちが集い、専門家による講演や交流を図っていますので、ぜひ一度のぞいてみてください。

忘れ物でわかる心理テスト
ねぼすけの男性が遅刻ギリギリに起きて急いで家を飛び出したので、忘れものをしてしまいました。さてそれは何？



>> 診断結果は3面へ

たたらリハビリテーション病院通信

みんなそろうって

タラッタ

たたら

vol. 38
2018年5月号

新入職員のご紹介

今年も10名のフレッシュな新卒が入職しました。
看護師5名、リハビリ技師3名、社会福祉士1名、
事務1名です。よろしくお願いします。



看護師



リハビリテーション技術部

理学療法士
西村 千穂
福岡出身

理学療法士
樋口 大樹
福岡出身

作業療法士
佐々野 諒歩理
福岡出身

5階病棟
大森 美津穂
大分出身

3階病棟
窄頭 みづき
長崎出身

6階病棟
山口 花奈
宮崎出身

5階病棟
鬼束 ひかり
福岡出身

3階病棟
矢野 弘菜
福岡出身

事務(医事課)
中島 真輝子
島根出身



社会福祉士
(医療社会科)
本堂 智子
福岡出身

4月1日付けでリハビリテーション技術部の技師長が交代しました。



リハビリテーション技術部
技師長 由川 明生

入職後16年間、主に千鳥橋病院で急性期リハビリテーションに携わってまいりました。私が入職した頃のリハビリテーションの目標は機能障害の回復にとどまる傾向にありましたが、現在は「その人らしい暮らしの再構築と支援」が求められています。多職種と連携し、リハ専門職として患者・利用者が求める暮らしを再構築するには何が必要かを一人一人が考え、力を発揮できる集団でありたいと思っています。今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。



発行元／たたらリハビリテーション病院広報委員会
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66
TEL: 092-691-5508 FAX: 092-691-5634 E-mail: info@tatara-reha.jp
<http://www.tatara-reha.jp>



たたらリハビリテーション病院は、日本医療機能評価機構認定病院です。

Health Promoting Hospital

※HPH(健康増進活動拠点病院)は、ヘルスプロモーションを実践するためにWHO(世界保健機関)が1988年に開始した国際的な病院のネットワークです。

HPHフェスティバル

6月24日(日)なみきスクエアにて開催します!



病院の質の向上を目指して取り組んでいます

たたらリハビリテーション病院はHPH / 健康増進活動拠点病院として患者さんや職員だけでなく地域の方々の健康増進にも取り組んでおり、健康づくりや予防治療だけでなく、安心して住み続けられる街づくりを目指しています。

この度「第一回たたらHPHフェスティバル」を開催するにあたり、私たちの患者ケアの紹介や日頃の様々な取り組みの成果を披露いたします。参加希望の方は是非とも当院までお問い合わせください。



文化企画では
素敵な生バンドの
ライブもお楽しみ
いただけます♪

日時: 6月24日(日) / 10:00~15:00
会場: なみきスクエア / 東区千早4-21-45
料金: 無料(要申込)
問合せ先: たたらリハビリテーション病院
☎092-691-5615 担当 / 藤島



各職場の 演題発表会

10分間のプレゼン大会を行います。患者ケアも含めた取り組みの成果は必見です!



ケア コンテスト

身体介助や認知症ケアを意識したコンテストを行います。ユーモアあふれるスタッフのやり取りをご覧ください。



スペシャルゲスト ミサガ

祖母を歌にした名曲「はじめまして、ばあちゃん」を生披露。福岡を拠点に活動するメジャーバンドに会える!

病院敷地内美化活動

2010年から始まった各職場分担による、病院敷地内の花壇づくりも今年で9年目です。ちょうど今、病院の玄関前やフェンス沿いなど綺麗な花が咲いて見頃です。病院に来られた際には、ぜひ、足を停めてご覧ください。



髪型が気に入らないとか、ちょっと深刻。責任から
逃れたいと思ってる。
服装がいまいちとか。
今まさに恋の真只中! ? あまり気にしないで、マイペースに行くのが一番!

① 外見 ② 仕事・学校 ③ 異性 ④ 人間関係

“タバコ”を選んだあなたは “カギ”を選んだあなた “手帳”を選んだあなた

この心理テストでわかるのは「あなたが気にしていること」

● 4面心理テストの診断結果